

集い睦める新学舎へGO

三隅中学校改築工事すすむ…59年2月竣工

さて、昭和二十二年に新制中学校令により、創立されて以来、五九〇二名（昭和五十八年三月三十一日現在）の卒業生を世に送り出しました。

数多くの想い出と歴史を刻んで来た校舎も老朽化が進み、危険校舎に認定され、本年度第一校舎（国道側）と第二校舎（美術室・図書室・音楽室等）の改築をする事になりました。

永年の町民の願いが、ここに結集し、新校舎建設へとなった訳ですが、現在の校舎への想いも数多くあろうと思います。

そこで、さる六月七日（火）に町民を代表しまして、在校生（三四八名）で校舎への感謝の気持ちと別れを惜しむ、校舎離別式が行われ、その後、全員で校舎の隅々まで清掃しました。

現在では、生徒たちはグラウンド側の第三校舎の中に、一・二年生明倫小学校の低学年棟に三年生が借用し勉学に励んでいます。

また、校長室・職員室・美術室・図書室等は講堂を間仕切りをして学校運営をしています。

最初は生徒・先生もとまどいがありましたが、現在ではすっかり慣れてきて、新校舎への期待に胸をふくらませる毎日です。

さて、新校舎への概略についててふれてみましょう。

鉄筋三階建て二三九八平方メートルの建物で、クリームホワイトを基調（農業者トレーニングセンターと同色）に部分的にモスグリーンでアクセントをつけて全体的に明るくしかも落ちついた感じを

